

めぐみイエス・キリスト教会

2019年9月29日(日) 第五主日礼拝
週報「通算第475号」



2019年標題聖句

第Ⅱ ペテロ1章10節

《ですから、兄弟たちよ。ますます熱心に、あなたがたの召されたことと選ばれたこととを確かなものとしなさい。これらのことを行なっていれば、つまづくことなど決してありません。》

第一礼拝	毎週日曜日	午前10時～11時
第二礼拝	毎週日曜日	午後6時～7時
聖書の学びと祈り会	毎週水曜日	午後6時15分～7時15分

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◇◆◇2019年9月29日 第四主日礼拝
第一礼拝 午前10時 第二礼拝午後6時
司会 鈴木 竜実牧師 奏楽 佐野 みゆきさん

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌341 「恐れなく近寄れ」 p. 542

【交読文】 No.43 詩篇第136篇 p. 913

【賛美Ⅱ】 新聖歌467 「世の終わりのラッパ」 p. 752

【使徒信条】

【主の祈り】

【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナルNo.16 「神の都へ」

【聖書朗読】 ヨハネの福音書19章28節～30節(新約p. 202下段)

【祈 禱】

【説 教】 《「私は渴く」「完了した」》 鈴木 竜実 牧師

【聖餐式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌165「栄光イエスにあれ」 p. 235

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

●ポイント1.「私は渴く」と言う聖書の預言の成就とは？

※詩篇22篇15節「ダビデによる十字架描写から」 (旧約p.848下段)

22:15 私の力は、土器のかけらのように、かわききり、私の舌は、上あごにくっついていて、あなたは私を死のちりの上に置かれます。

※詩篇69篇21節「苦しみの中にある者の祈りから」 (旧約p.892上段)

69:21 彼らは私の食物の代わりに、苦味を与え、私が渴いたときには酢を飲ませました。

※ヨハネの福音書4章13節～14節「サマリヤの女への言葉」(新約p.163)

4:13 イエスは答えて言われた。「この水を飲む者はだれでも、また渴きます。

4:14 しかし、私を与える水を飲む者はだれでも、決して渴くことはありません。私を与える水は、その人のうちで泉となり、永遠のいのちへの水がわき出ます。」

●ポイント2. 十字架の上における二つの言葉とは？

※マタイの福音書27章46節「午後三時頃の言葉から」 (新約p.55下段)

27:46 三時ごろ、イエスは大声で、「エリ、エリ、レマ、サバクタニ。」と叫ばれた。これは、「わが神、わが神。どうして私をお見捨てになったのですか。」という意味である。

※ルカの福音書23章46節「ルカだけの記述から」 (新約p.153下段)

23:46 イエスは大声で叫んで、言われた。「父よ。わが霊を御手にゆだねます。」こう言って、息を引き取られた。

●ポイント3. 「完了した」と言う言葉の意味とは？

※マタイの福音書5章17節～18節「主の降誕の目的は？」(新約p.6上段)

5:17 「私が来たのは律法や預言者を廃棄するためだと思っはなりません。廃棄するためではなく、成就するために来たのです。

5:18 まことに、あなたがたに告げます。天地が滅びうせない限り、律法の中の一点一画でも決してすたれることはありません。全部が成就されます。」

※第 I コリント15章3節～5節「パウロの福音理解とは？」(新約p.310下段)

15:3 私があなたがたに最も大切なこととして伝えたのは、私も受けたことであって、次のことです。キリストは、聖書の示すとおりに、私たちの罪のために死なれたこと、

15:4 また、葬られたこと、また、聖書に従って三日目によみがえられたこと、

15:5 また、ケパに現われ、それから十二弟子に現われたことです。

◎先週のメッセージの概要【くじびきと母マリヤ】

《イエス様の十字架の場面からの学びとなります。イエス様の着物をローマ兵が分けることは、共観福音書にも書かれています。この預言は、ダビデの詩篇22篇にあり、イエス様が十字架にかけられる一千年以上も前に、預言されました。詩篇22篇の描写は、まさに「十字架刑」そのものを表現しています。『私は、水のように注ぎ出され、私の骨々はみなはずれ、私の舌は、上あごにくっついていています。犬どもが私を取り巻き、私の手足を引き裂きました。彼らは私の着物を互いに分け合い、私の一つの着物を、くじ引きにします。』と。

イエス様はピラトの命令によって、ローマ兵にむち打たれます。その時、もし服の上から、むち打たれたら服はボロボロとなり、兵士たちは、そんな服を欲しないと思います。よって服をめくられ、むち打たれたのです。そして十字架につけられる時には、いっさいの服を剥ぎ取られたに違いありません。それだからこそ、『イエスの着物を取り、ひとりの兵士に一つずつあたるよう四分』することが出来たのです。この枚数から、ローマ兵は4人いたことが分かります。そして下着をくじ引きにします。どんなくじを作ったのかはわかりませんが、その中の一人の兵士が、イエス様の一枚の下着を自分のものにします。もしかしたら、彼は後ほど、恵みによって救われているかも知れません。

さて次に主の母マリヤのことです。この記事は、ヨハネにしか書かれていません。なぜなら主の十字架のみ側にいた使徒は、ヨハネだけだからです。

ここでイエス様は、母マリヤを「女の方」と呼びます。これは女性に向ける最高の尊敬の言葉だと言われています。主は、何時もこう呼んでいたようです。

母マリヤに、「女の方。そこに、あなたの息子がいます。」と言われ、そして愛する弟子に、「そこに、あなたの母がいます。」と言われます。

ヨハネの福音書と共観福音書を併せますと、イエス様の母マリヤの妹が、ゼベダイの子らの母で、名前がサロメであることが分かります。つまりヨハネとヤコブの母サロメが、姉マリアを自分の家に引き取ったことになるのです。》

◎お知らせ

※次回礼拝は10月6日です。鈴木牧師が「あさま台家族運動会」参加の為に、午前の第一礼拝はお休みします。第二礼拝だけ行ないます。また次回「聖書の学びと祈り会」は、10月2日(水)に行ないます。鈴木師は、10月5日(土)鎌倉ベテル・チャーチにて、メッセージと特別賛美の奉仕を担当します。

